



3/1 人と人がつながるまちを目指して ～緑ヶ丘地区エリアマップが完成～

▶日々の暮らしに便利な情報が掲載されています



緑ヶ丘地区には現在、約1,800戸に5千人ほどが暮らしています。商業・娯楽施設や飲食店も多く利便性が高い地域で、古墳や石碑などの史跡も点在しており、新しい文化と歴史が融合しています。この度、緑ヶ丘地区協議会では、緑ヶ丘地区の全体が分かるマップを作成しました。マップには、地区にある飲食店や医療機関など約150店舗が掲載されています。石松事務局長は「このマップを活用して、地域の魅力を再発見してもらいたい」と話していました。

1/26 若い力が新時代の暮らしを創る ～有明高専のグループが起業家甲子園に出場～

▶起業家甲子園への意気込みを見せる学生たち(前列5人)



有明高専創造工学科のグループが考案した、「新時代の巣ごもり生活の質を向上させる住宅コンサルティングビジネス」が、起業を目指す高専・大学生による九州・大学発ベンチャービジネスプランコンテストで、NICT(情報通信研究機構)賞を受賞しました。このプランは、市内企業やスマートシティを推進する本市とも連携し、一般家庭などへの壁面ディスプレイの導入を提案したものです。学生たちは、3月1日に東京で開催される起業家甲子園に出場します。

12/25 竹で作る万田坑のミニチュア ～万田坑ミニチュア模型寄贈式～

▶立石さんによる竹細工の超大作・万田坑のお披露目



立石昭雄さんから市に、竹で制作された万田坑のミニチュア模型が寄贈されました。この模型は立石さんが1年8か月をかけて、1/54スケール(幅100cm、奥行75cm、高さ64cm)で制作したものです。「樽と巻揚機室にあるウインチの小さい部品が特に難しかった」と話す立石さん。樽のワイヤロープなど細部まで精巧に作られています。作品は、万田坑ステーションに展示してありますので、ご来場の際はぜひご覧ください。

100歳 おめでとうございます



和田アキエさん(万田西)

1月20日に100歳の誕生日を迎えられました。今でも身の周りのことは自分で行き、近所へはシルバーカーを使って出かけます。昔は料亭の手伝いをしていたので料理が得意で、テレビで知ったレシピを試したりするそうです。長寿の秘訣は温泉。週2回のデイケアでは、温泉に入ったり、おしゃべりしたりするを楽しんでいます。

地域の活動 掲示板

防犯防災パトロール出発式



桜山地区協議会
ミニ門松づくり

12/1

地区内危険箇所点検



井手川地区協議会
子ども消防団

12/20



よかまち中央会

12/20



八幡地区協議会

12/27

1/21 豪雨災害の復興に活用を ～災害義援金の贈呈～

▶右から、前野事務局長、浅田市長、江崎支部長、西山会長



令和2年7月豪雨で被災した人たちの支援のために、新日本婦人の会から義援金の贈呈がありました。義援金は、全国の会員の皆さんや、有志の皆さんからお寄せいただいたものです。熊本県本部から西山澄子会長、荒尾支部から江崎要子支部長、前野サヨコ事務局長が市役所を訪れ、「被災者のために義援金を役立ててください」と寄附への思いを話すと、浅田市長は「温かいご支援をいただき、ありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。

1/5 今後の災害対策への活用を ～災害対策支援金の寄附～

▶浅田市長(左)に支援金を手渡す落合学社長(中)と落合里幸取締役(右)



令和2年7月豪雨をうけ、今後の市の災害対策に活用してほしいと、(株)敏一産業 和料理以和貴から災害対策支援金の寄附がありました。災害対策支援金は、以和貴で販売された「復興弁当」の売り上げの一部を充てたものです。落合学社長は「昨年の豪雨災害には心がとても痛み、地元企業として何かできないかと考えた。これからも市民の立場から貢献していきたい」と寄附への思いを話されました。